

所報ふくしま

窓

福島県教育センター

「窓」に寄せる思い、
「教育に寄せる心を開く小さな「窓」」
小さな「窓」から広がる教育の世界が見えてきます。



「知」と「情報」の共通基盤をつくる

所長 新井田 大

所報ふくしま「窓」は、昭和46年4月25日に創刊された「所報」にその源があり、平成19年3月には150号を発行することができました。この間、教育センターの事業、特に教育内容・方法に関する研究、研修や教育に関する資料情報等を先生方にお知らせすることを使命としてきました。

創刊された年の4月1日には、福島県理科教育センターをさらに発展させ、教育関係者待望の福島県教育センターが発足しています。事業内容・組織・規模・施設設備等どれも全国屈指のものでした。創刊号に寄せられた、当時の県教育長はじめ小学校・中学校長会長及び高等学校長協会長の祝意、教育センター所長の巻頭言には、「深い教養と使命感を持った教師を育てる。」「魅力的な研修を提供する。」「教育に関するサービス機関となる。」など、教育センターが福島県の教育の向上に果たすべき役割が率直に期待を込めて述べられています。

爾来36年、教育センターの果たすべき役割はさらに増大しています。今、教育の「質の向上」を目指し多様な事業を推進していく上で、多くの「知」を集め、自ら「知を創造」し、そしてそれを「情報」として伝え「共有」するこ

との重要性を特に強く感じています。

このことを勘案し、今回から、「窓」は「リーフレット」と「Web」を共に活用する形で発行することとしました。リーフレットは福島県内のすべての公立学校教職員に直接お届けします。そして、リーフレットの内容をさらに詳しくWebで見ることができるようにしました。「窓」が福島県の教育を支える「知」と「情報」の共通基盤をつくる上で大切な役割を果たせるよう、さらに育てたいと考えています。ご活用よろしくお願いいたします。

